

Net LineDancer スタートアップガイド



ご注意：

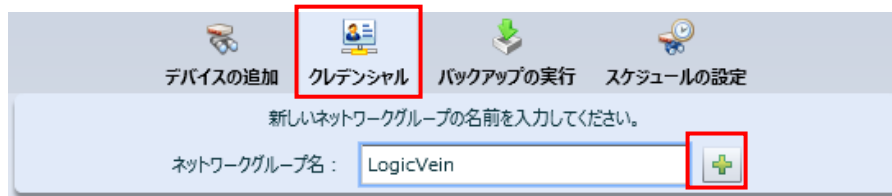
- ※ 本評価版をご利用頂くには、インターネット接続によるライセンス認証が必要となります。
- ※ 評価期間は、プログラムダウンロード時に自動送信されるライセンスが送付されてから約 30 日となります。
お早めに評価を開始頂きますようお願いいたします。

◆バックアップ取得までの流れ



① クレデンシャルの設定

1. 「クレデンシャル」をクリックし、ネットワークグループ名を入力後、**+**をクリックします。



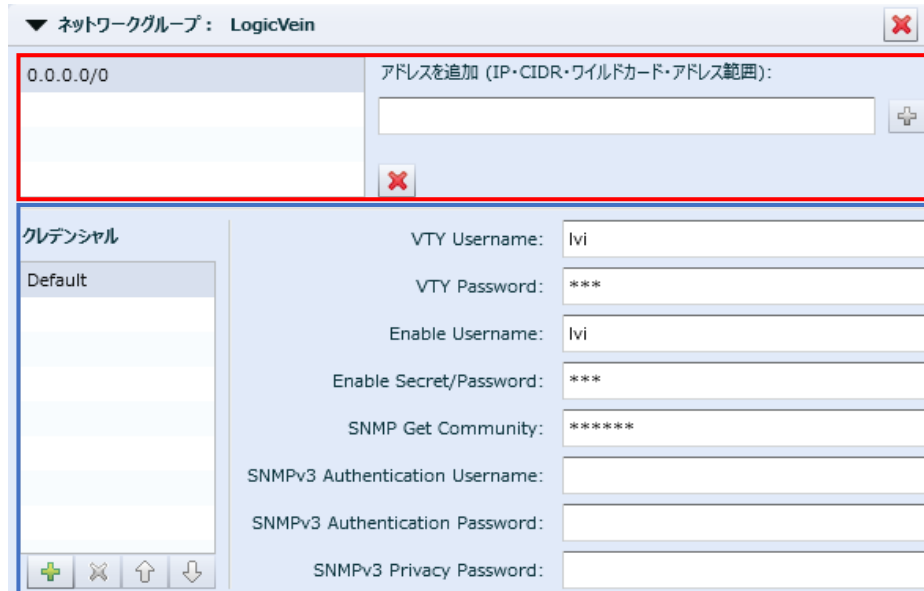
2. 作成するグループ名に適用する管理方法を選択し、「OK」をクリックします。

- ダイナミック・・・ネットワーク単位や IP アドレス範囲などでクレデンシャルを指定します。
- スタティック・・・1 つの IP アドレスにクレデンシャルを指定します。

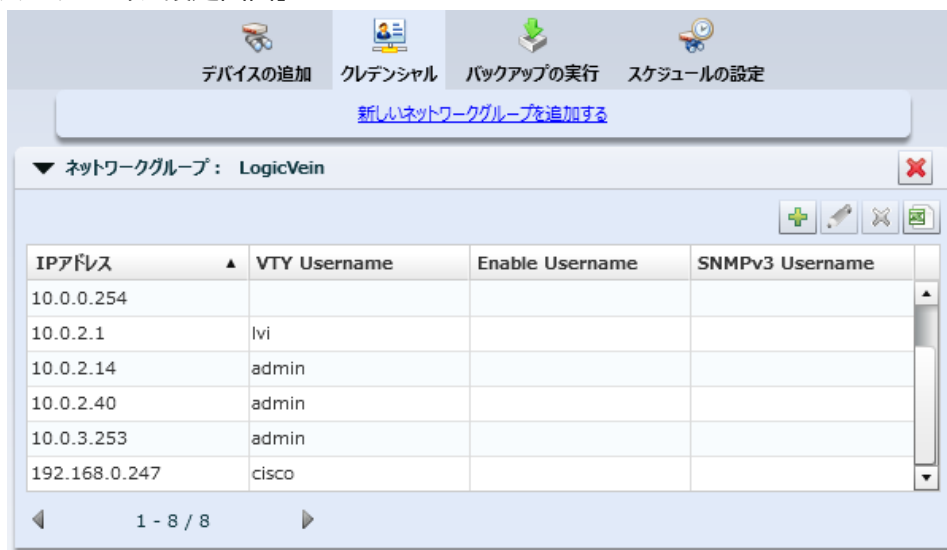


3. 上段（赤枠）に適用するネットワーク範囲を入力し、下段（青枠）に適用するクレデンシャルを入力します。

【ダイナミッククレデンシャル設定画面】



【スタティッククレデンシャル設定画面】



IPアドレス	VTY Username	Enable Username	SNMPv3 Username
10.0.0.254			
10.0.2.1	lvi		
10.0.2.14	admin		
10.0.2.40	admin		
10.0.3.253	admin		
192.168.0.247	cisco		

スタートアップウィザードでの設定後、編集したい場合にはインベントリメニュー内の「クレデンシャル」にて設定変更することができます。

※ 管理するデバイスに Enable Secret Password と Enable Password が設定されている場合には Enable Secret Password を Enable Secret/Password に入力して下さい。Enable Password のみ設定されている場合にも Enable Password を Enable Secret/Password に入力して下さい。

② デバイスの追加

管理デバイスを netLD に登録します。スタートアップウィザードでは、ディスカバリと Excel ファイルからのインポートを使用して登録することができます。

【ディスカバリ】

1. ディスカバリを行うネットワークを入力します。



デバイスの追加 クレデンシャル バックアップの実行 スケジュールの設定

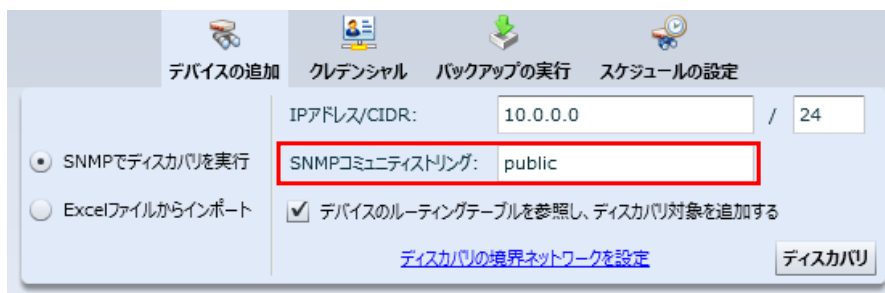
IPアドレス/CIDR: 10.0.0.0 / 24

SNMPコミュニティストリング: public

デバイスのルーティングテーブルを参照し、ディスカバリ対象を追加する

[ディスカバリの境界ネットワークを設定](#)

2. ディスカバリ時に使用する SNMP コミュニティ名を入力します。



デバイスの追加 クレデンシャル バックアップの実行 スケジュールの設定

IPアドレス/CIDR: 10.0.0.0 / 24

SNMPコミュニティストリング: public

デバイスのルーティングテーブルを参照し、ディスカバリ対象を追加する

[ディスカバリの境界ネットワークを設定](#)

3. 「ディスカバリ」をクリックします。



デバイスの追加 クレデンシャル バックアップの実行 スケジュールの設定

IPアドレス/CIDR: 10.0.0.0 / 24

SNMPコミュニティストリング: public

デバイスのルーティングテーブルを参照し、ディスカバリ対象を追加する

[ディスカバリの境界ネットワークを設定](#)

ディスカバリが実行され、検知されたデバイスを netLD に登録します。

デバイスの追加 クレデンシャル バックアップの実行 スケジュールの設定

デバイスの追加

▼ 10.0.0.0/24ネットワークがディスカバリされました。

IPアドレス	アダプタ	ステータス
10.0.0.211	Juniper JUNOS	デバイスを追加しました。
10.0.0.212	Foundry FastIron	デバイスを追加しました。
10.0.0.250	Cisco IOS	デバイスを追加しました。
10.0.0.253	HP ProCurve	デバイスを追加しました。
10.0.0.254	Cisco IOS	デバイスを追加しました。
10.0.2.1	Juniper ScreenOS	デバイスを追加しました。
10.0.2.2	NEC IX	デバイスを追加しました。
10.0.2.3	Yamaha RT/RTX	デバイスを追加しました。
10.0.2.4		このデバイスでSNMPエラー (2) が発生しました。
10.0.2.5	Aprisia	デバイスを追加しました。

【Excel ファイルからのインポート】

1. 「Excel からインポート」をクリックします。

デバイスの追加 クレデンシャル バックアップの実行 スケジュールの設定

IPアドレス/CIDR: 10.0.0.0 / 24

SNMPコミュニティリング: public

SNMPでディスカバリを実行
 Excelファイルからインポート

デバイスのルーティングテーブルを参照し、ディスカバリ対象を追加する

[ディスカバリの境界ネットワークを設定](#) [ディスカバリ](#)

2. 「インベントリインポート用のテンプレートを保存」をクリックし、Excel ファイルを保存します。

デバイスの追加 クレデンシャル バックアップの実行 スケジュールの設定

SNMPでディスカバリを実行
 Excelファイルからインポート

[インベントリインポート用のテンプレートを保存...](#)

[Excelファイルからデバイスをインポート](#)

3. 保存した Excel ファイルの「IP Address、Network、Adapter ID」を入力します。

IP Address	Network	Adapter ID
10.0.2.5	Default	Apresia
192.168.0.140	Default	Cisco IOS
10.0.3.235	Default	Cisco IOS
10.0.3.164	Default	Cisco IOS
10.0.3.45	Default	Cisco IOS
10.0.3.24	Default	Cisco IOS
10.0.2.40	Default	Cisco Airespace Controller

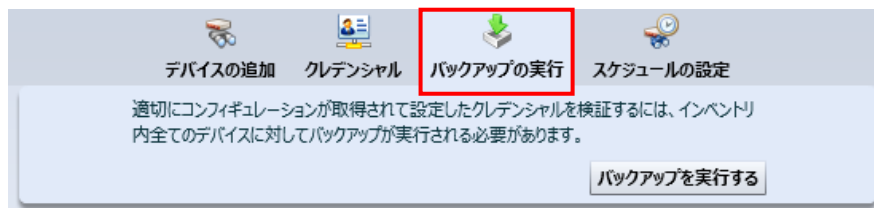
4. 「Excel ファイルからデバイスをインポート」をクリックし、Excel ファイルをインポートします。



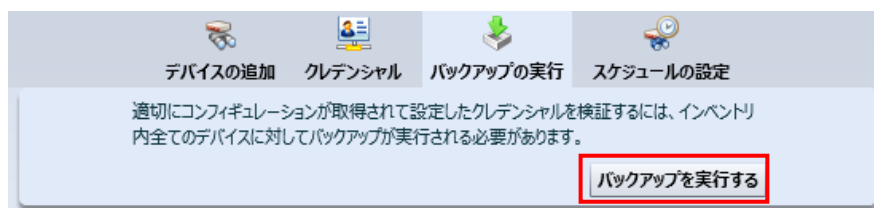
③ バックアップの取得

管理するデバイスのコンフィグを取得します。

1. 「バックアップの実行」をクリックします。「バックアップを実行する」をクリックします。



2. 「バックアップを実行する」をクリックします。



バックアップが実行され、実行結果がリストに反映されます。

IPアドレス	ホスト名
10.0.0.211	J2320
10.0.0.212	NAME
10.0.0.250	test
10.0.0.253	HP
10.0.0.254	C1921
10.0.2.1	s5g5
10.0.2.2	NAME
10.0.2.3	RTX1200
10.0.2.5	Adresia-Test

※ バックアップができる条件

1. 登録されているクレデンシャル(各ユーザ名/Password/Community 名等)がデバイスと一致していること
2. 必要なプロトコル (例 : telnet、ssh 等) がデバイス側で有効になっていること
3. ファイアウォールやウイルス対策ソフトなどにより、必要なポートが遮断されていないこと
4. クレデンシャル/プロトコル設定で「ネットワークグループ」で、同じIPアドレス範囲を含むネットワークグループが複数存在しないこと

※ 上記条件を満たしていても、バックアップできない場合は以下の手順でログを取得し、弊社(support@lvi.co.jp)までお送りください

1. 画面右上の ヘルプ->バージョン情報->[アダプタ診断設定]をクリックします。
2. 「IP/CIDR」にバックアップが失敗する IP アドレスを入力します。
3. 「アダプタ動作をレコーディングする」にチェックを入れ、OK をクリックします。
4. 再度バックアップをします。
5. C:¥Program Files¥Net LineDancer¥scratch¥logs にログがエクスポートされます。

◆Net LineDancer のライセンスについて

Net LineDancer はオンラインライセンスを使用しています。インターネットに接続できない環境で使用する場合には別途ライセンスファイルが必要です。インストールされているサーバの MAC アドレスと共に support@lvi.co.jp にご連絡ください。別途、ライセンスファイルをお送り致します。

※ NICが複数ある場合には、いずれか1つのMACアドレスをお送りください。但し、該当のMACアドレスを持つNICを移設した場合には、発行したライセンスファイルは無効となります。また、IPアドレスを変更した場合には Net LineDancer のサービスを再起動させる必要があります。

◆Net LineDancer インストール時の注意事項

Net LineDancer をインストールする際に以下の項目についてご確認ください。

1. Net LineDancer が使用するポートと競合するアプリケーションが動作していると正常に動作しません。
2. インストールする際は、Administrator 権限を持つユーザで行ってください。
3. Adobe Flash Player 10.3 以上をインストール (またはアップデート) する必要があります。

◆Net LineDancer の使用ポート

Net LineDancer は、以下のポートを使用します。ファイアウォールを介して対象機器にアクセスする場合、使用するプロトコルに応じて Net LineDancer サーバとデバイス間の通信設定を行なってください。

Net LineDancer サーバ/スマートブリッジ ⇄ 管理デバイス

機能	プロトコル	ポート	UDP/TCP	方向
Cisco PnP (旧 Zero-Touch)	DHCP	67	UDP	netLD <-- dest
		68		netLD --> dest
	HTTP	80	TCP	netLD <-- dest
	TFTP	69	UDP	netLD <-- dest
	ICMP	-	-	netLD <-- dest
ディスカバリ	SSH,Telnet	22,23	TCP	netLD --> dest
	SNMP	161	UDP	netLD --> dest
	ICMP	-	-	netLD --> dest
設定アップロード (コンフィグ復元など)	TFTP	69	UDP	netLD <-- dest
設定変更ツール *1	SSH,Telnet	22,23	TCP	netLD --> dest
トラップ送信	SNMP	162	UDP	netLD --> dest
リアルタイム変更検知	Syslog	514	UDP	netLD <-- dest
バックアップツール *2	SSH,Telnet	22,23	TCP	netLD --> dest
	SNMP	161	UDP	netLD --> dest
	TFTP	69	UDP	netLD <-- dest
	FTP	21	TCP	netLD <-- dest
ターミナルプロキシ	SSH	22 ^(Windows) 2222 ^(Linux)	TCP	netLD <-- dest
ActiveDirectory 連携	LDAP	389	TCP	netLD --> dest
	LDAPS	636	TCP	netLD --> dest

*1 デバイスに設定された CLI プロトコルを使用します

*2 デバイス機種に依存します

例) IOS 用のアダプタ: CLI (Telnet,SSH) または CLI と TFTP の両方を使用します

例) Alaxala 用のアダプタ: CLI(Telnet, SSH), FTP, SNMP を使用します

Net LineDancer サーバ ← クライアント

	プロトコル	ポート	TCP/UDP	方向
クライアント (Web ブラウザ)	HTTPS	443	TCP	netLD <--dest

Net LineDancer サーバ → スマートブリッジ

	プロトコル	ポート	TCP/UDP	方向
スマートブリッジ	HTTPS	10443	TCP	netLD --> smart bridge